

平成29年7月九州北部豪雨

平成29年7月28日
近畿地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課

災害廃棄物の発生量(推計量)

災害名	発生年月	災害廃棄物量	損壊家屋数	処理期間
東日本大震災	H23年3月	3100万トン (津波堆積物1100万 トンを含む)	全壊：118,822 半壊：184,615	約3年 (福島県を除く)
阪神・淡路大震災	H7年1月	1500万トン	全壊：104,906 半壊：144,274 一部損壊：390,506 焼失：7,534	約3年
熊本地震 (熊本県)	H28年4月	289万トン ⁽¹⁾ (推計値)	全壊：8,664 ⁽²⁾ 半壊：34,026 ⁽²⁾ 一部損壊：147,742 ⁽²⁾	2年 ⁽¹⁾
新潟県中越地震	H16年10月	60万トン	全壊：3,175 半壊：13,810 一部損壊：103,854	約3年
広島県土砂災害	H26年8月	58万トン	全壊：179 半壊：217 一部損壊：189 浸水被害：4,164	約1.5年
伊豆大島豪雨災害	H25年10月	23万トン	全壊：50 半壊：26 一部損壊：77	約1年
関東・東北豪雨 (常総市)	H27年9月	5万2千トン	全壊：53 半壊：5,054 浸水被害：3,220	約1年
台風第3号及び梅雨前線による大雨(福岡県)	H29年7月	調査中	調査中	—

(1)熊本県災害廃棄物処理実行計画 第2版(平成29年6月)

(2)平成29年5月2日現在(被災棟数については、現在も調査中であるため、変動する見込み)

被害の状況

梅雨前線や台風第3号の影響により、九州北部地方を中心に局地的に猛烈な雨が降り、記録的な大雨となった。

6月30日から7月10日にかけての24時間の最大雨量
福岡県朝倉で545.5ミリ、長崎県芦辺で432.5ミリ、大分県日田で370.0ミリ

家屋の被害状況

県名	全壊	半壊	一部損壊	浸水被害
福岡県	87棟	22棟	30棟	213棟
大分県	15棟	11棟	22棟	251棟
熊本県	0棟	0棟	1棟	31棟

出典：7月5日からの大雨に関する情報(第40報)(福岡県災害対策本部、平成29年7月14日17:00現在)

「平成29年7月5日からの大雨による災害」に関する災害情報について(第26報)(大分県災害対策本部、平成29年7月14日16:30現在)

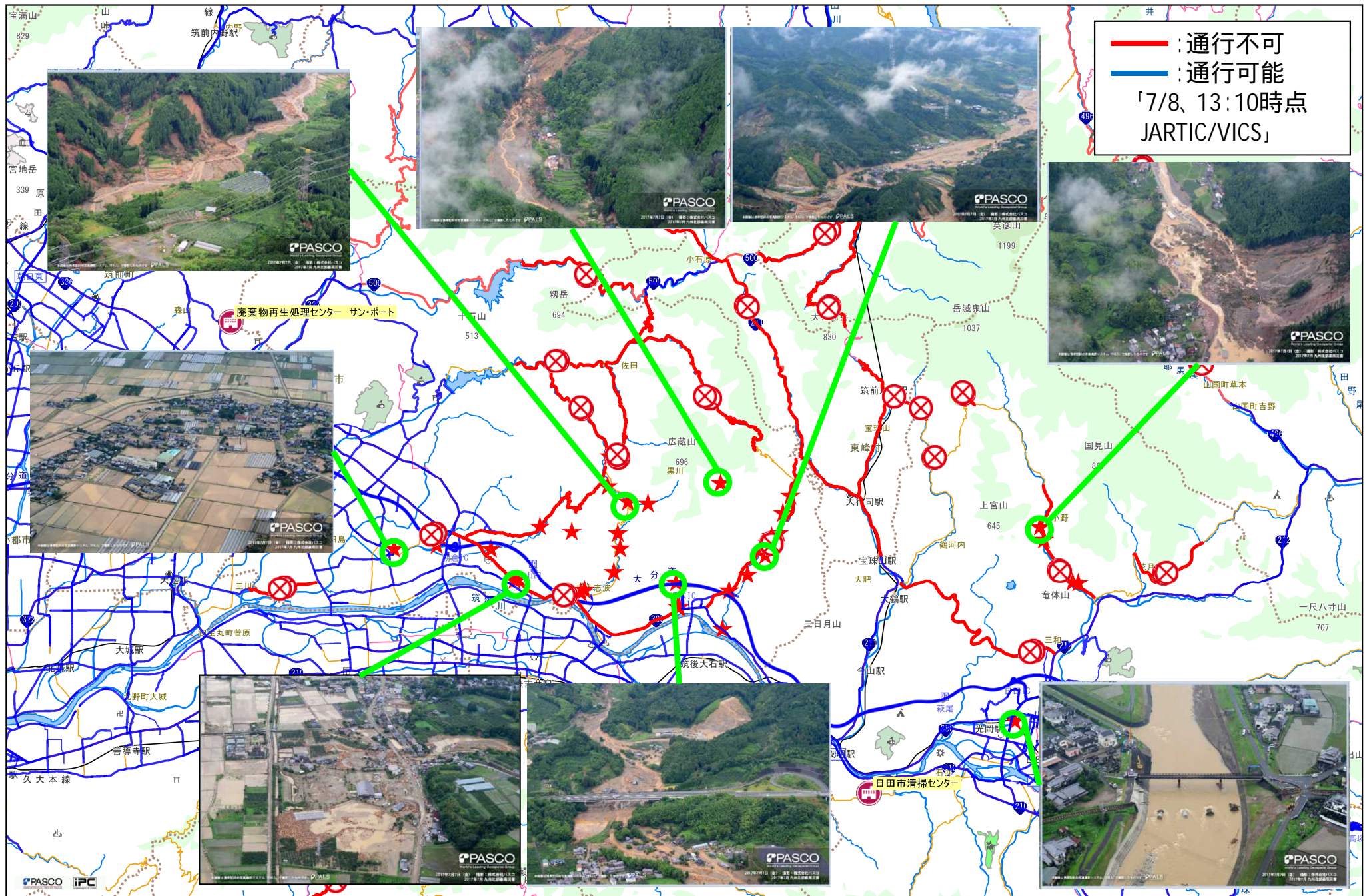
平成29(2017)年7月5日からの大雨に係る被害状況について【第14報】(熊本県災害警戒本部、平成29年7月12日16時30分現在)

現在報告されているものであるため、今後被害状況の把握とともに、棟数は変わる。

福岡県、大分県、熊本県内の一般廃棄物処理施設の被害状況

- ・ 廃棄物処理施設に被害なし
- ・ 被害が大きかった福岡県朝倉市においても7月7日から生活ごみの収集を再開
- ・ 浄化槽が水没し、便槽内に土砂等が流入している(被災基数は調査中)。

朝倉市・東峰村・日田市 被害状況(7月7日空撮)



大雨による被害状況(1)



河川護岸の崩壊
(朝倉市朝倉地区 7/8)



河川脇の流木堆積
(朝倉市杷木地区 7/8)



民家脇の流木堆積
(朝倉市朝倉地区山田 7/8)



流木による道路の寸断
(朝倉市朝倉地区山田 7/8)



観光名所の三連水車の被災
(朝倉市朝倉地区山田 7/8)



土砂の堆積による道路の寸断
(朝倉市杷木中学校前 7/8)

大雨による被害状況(2)



土砂・流木による農地被害
(朝倉市杷木地区林田 7/9)



土砂・流木による農地被害
(朝倉市杷木地区林田 7/9)



土砂流入による水田被害
(朝倉市甘木地区中島田 7/9)



大量の流木による農地被害
(朝倉市朝倉地区山田 7/10)



道路片側の崩落
(東峰村鼓の里付近 7/11)



道路盛土の土砂流出
(朝倉市甘木地区長田 7/11)

災害廃棄物の仮置場の状況(朝倉市甘木地区)



仮置前(7/8)



仮置開始4日目(7/12)



ドローンによる仮置場空撮画像
(7/16)



仮置場への搬入状況(7/17)



積上げ状況 約2.5m(7/15)



可燃物の搬出状況(7/12)

災害廃棄物の仮置場の状況(朝倉市朝倉地区)



仮置き前(7/8)



仮置き開始8日目(7/16)



ドローンによる仮置場空撮画像
(7/16)



仮置場への搬入状況(7/9)



廃棄物の搬出状況【広域処理】
(7/16)



廃棄物の搬出状況【広域処理】
(7/16)

環境省の支援体制

関係省庁

本省

【7月5日~】
災害対策チーム
・廃棄物対策課
・災害廃棄物対策室

D.Waste-Net()

国立環境研究所、
日本環境衛生センター、
日本廃棄物コンサルタント協会

【7月6日~】
九州地方環境事務所
災害対策本部

【7月6日~】
現地支援チーム
(環境省 + D.Waste-Net 9名)
(朝倉市に常駐7/6~、東峰村7/10~)



【7月8日~】
政府現地調整連絡室
リエゾン
(環境省1名)
流木等処理現地対策
チーム
(環境省1名)
(福岡県庁)

福岡県
災害対策本部

大分県
災害対策本部

必要に応じて体制は適宜見直す。

環境省の災害廃棄物に関する取り組み状況 (H29/7/19時点)

体制整備

環境省災害対策チームを設置 (7月5日夜)

九州地方環境事務所に災害対策本部を設置 (7月6日朝)

現地への人員派遣及び技術的助言

福岡県災害対策本部に九州地方環境事務所職員及び災害廃棄物処理支援ネットワーク (D.Waste-Net) の専門家を派遣 (7月6日)

福岡県朝倉市 (7月6日～) 及び福岡県東峰村 (7月10日～) に現地支援チームを常駐させ、福岡県と連携して被災状況の確認、仮置場の確保、災害廃棄物の分別、適正処理に関する支援を実施

朝倉市、東峰村で処理しきれない可燃物の広域処理の調整を行い、福岡市、北九州市及び久留米市に受入れ実施。

被災自治体	福岡市	北九州市	久留米市	飯塚市
朝倉市	7/13～	7/13～	-	-
東峰村	7/15～	-	7/17～	7/20～

大分県中津市、日田市に九州地方環境事務所職員を派遣し、仮置場の設置状況、支援の必要性等について現地調査・助言を実施。(7月12日)

流木等の課題への対応

補助金の活用、仮置場設置を含めた災害廃棄物処理技術に関する情報を提供

被災市町村が仮置場を確保し、災害廃棄物の受入れを開始 (大分県日田市は7日～、福岡県朝倉市・東峰村、大分県中津市は9日～)

流木等処理に関する関係省庁課長会議に本省担当課長が参画。現地では、流木等処理現地対策チームに環境省福岡事務所長が参画するとともに、環境省現地支援チームが流木に関しても関係省と連携して支援を実施予定



現地支援チームによる福岡県朝倉市への技術的助言



災害廃棄物の仮置場設置状況 (福岡県朝倉市 7月9日時点)

環境省の支援



仮置場運営等に係る技術的支援
(朝倉市環境センター 7/16)



仮置場運営等に係る技術的支援
(東峰村小石原庁舎 7/11)



仮置場候補地の視察
(東峰村村民グラウンド横空地 7/10)



廃棄物の分別状況の確認
(朝倉市杷木地区仮置場 7/12)



自主仮置場の仮置状況確認
(朝倉市荷原地区自主仮置場 7/12)



広域処理の調整
(朝倉市甘木地区仮置場 7/13)

仮置場の開設に関する周知

福岡県 あさくらし
朝倉市
ASAOKURA CITY Official Web Site

水を育み 街を潤す 健康文化都市の創造

携帯サイト ・ サイトマップ English Chinese Hangeul

検索

朝倉市トップ くらしの情報
市民の方向け ビジネス情報
企業の方向け 市内の公共施設
施設情報 観光情報
朝倉市を楽しむ 窓口一覧
お問い合わせ先

文字サイズ 縮小 標準 拡大

衛生

● 大雨による災害ごみの受入について

災害ごみの受け入れを下記の3箇所で行います。

持ち込めるごみは、今回の大雨による災害ごみが対象です。

注意していただくことは、衛生面から生ごみや紙オムツ等は持ち込まないでください。

○ 受入れ開始日時

平成29年7月9日(日曜)午前9時～午後5時まで

○ 期間

当分の間

○ 受入場所

甘木地域・・・「環境センター南側ゲートボール場」

朝倉地域・・・「入地中町リサイクルセンター」

杷木地域・・・「杷木体育センター駐車場」

○ 分別例

トタン、タキロン、スレート、畳、瓦、ガラス類、金属、コンクリート、セメント瓦、陶器瓦、ふとん、がれき類、角材、樹木、竹などに分別。

今回、水没等で壊れたテレビや冷蔵庫や洗濯機やエアコンも受け付けます。

冷蔵庫の中身は出しておいてください。

※各自で車から降ろしていただきます。人員の確保と分別をお願いします。

通常の生活ごみについては、週2回の可燃ごみ収集や月1回の不燃物収集を利用してください。

(担当課)

環境課リサイクル推進係

電話 0946-22-1111 (内線: 65-14)

災害廃棄物の広域処理

(広域処理の必要性)

朝倉市・東峰村は自力での処理が難しいと判断し、環境省および福岡県を通じ、福岡市・北九州市・久留米市に広域処理の応援を要請

環境省が調整を行った主な広域処理



朝倉市から福岡市へ災害廃棄物を運搬する車両への積み込み状況

朝倉市の広域処理

福岡市：(日量最大100トン、7/13～)

北九州市：(日量50トン程度、7/13～)

東峰村と合わせて



朝倉市から北九州市へ災害廃棄物を運搬する車両

東峰村の広域処理

福岡市：(日量最大100トン、7/15～)

久留米市：(日量最大16トン、7/17～)

飯塚市(日量最大6トン、7/20～)

朝倉市と合わせて

災害廃棄物の処理の支援(収集・運搬等)

仮置場での円滑な受入れを実施するため、仮置場にたまった災害廃棄物を廃棄物処理施設へ運搬する体制を強化

住民が自主的に災害廃棄物を集積した個所の早期解決(火災防止・二次災害防止)

環境省が調整を行った主な収集・運搬に関する支援

全国都市清掃会議に調整を依頼し、京都市と長崎市に支援を依頼

京都市

- ・朝倉市へ派遣
- ・ごみ収集車3台、職員13名派遣(7/19~)
- 仮置場から処理施設への搬入を実施

長崎市

- ・朝倉市への支援
- ・ダンプ1台、職員3名派遣(7/19~)
- 市内に自主的に集積されている災害廃棄物の回収、仮置場への搬入を実施



京都市の出発式(7月19日撮影)



京都市の応援車両(7月19日撮影)



自主的に集積された災害廃棄物
(7月12日撮影)